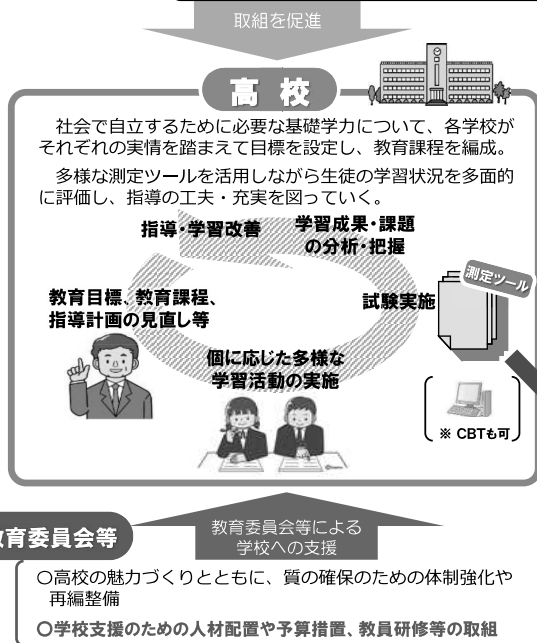


「高校生のための学びの基礎診断」制度

- 平成28年3月の高大接続システム改革会議「最終報告」を踏まえ、有識者による検討・準備グループ等において具体的な検討を推進。同グループによる「論点整理」（平成29年3月）や試行調査（平成29年1～3月）の結果を踏まえ、平成29年7月に「高校生のための学びの基礎診断」実施方針を策定。
 - 「高校生に求められる基礎学力の確かな習得」と「学習意欲の喚起」を図るため、文部科学省が一定の要件を示し、民間の試験等を認定する制度を創設し、多様な民間の試験等（測定ツール）の開発・提供、その利活用を促進。それにより、高校生の基礎学力の定着に向けたPDCAサイクルの取組を促進。
 - 「高校生のための学びの基礎診断」検討ワーキング・グループにおける専門的な検討を加え、高校・教育委員会等の関係者、民間事業者等の意見やパブリック・コメントによって得られた意見等を考慮しつつ、平成30年3月に「『高校生のための学びの基礎診断』の認定基準・手続等に関する規程」を策定。
 - 平成30年12月に初めて測定ツールの認定を行い、平成31年度から本格的に利活用開始。
- ※学校や教育委員会等において選択・利活用について検討し、次年度の年間指導計画等に反映。



高等学校における基礎学力の定着に向けたPDCAサイクルの構築



測定ツールの
充実

「高校生のための学びの基礎診断」制度の創設 (一定の要件に即して民間の試験等を認定する制度を創設)

認定基準等の設定 審査・事後チェック体制の整備

仕組みの構築と運用を通じて、民間事業者等から高等学校の実態に応じて選択可能な多様な測定ツールが開発・提供され、その利活用が促進されることが期待。

認定基準

- (出題)
- ・学習指導要領を踏まえた出題の基本方針に基づく問題設計
 - ・対象教科は国・数・英（共通必修科目中心、義務教育段階含む）
 - ・主として知識・技能を問う問題に加え、主として思考力・判断力・表現力等を問う問題の出題
 - ・記述式問題の出題
 - ・英語4技能測定
- (結果提供)
- ・学習成果や課題が確認でき、事後の学習改善や教師による指導の工夫・充実に資する結果提供等
- (認定の有効期限)
- ・認定の有効期限は認定をしたときから3年後の年度末まで



「高校生のための学びの基礎診断」認定ツール一覧 (平成30年度申請分)

認定期間: 2022年3月31日まで

対象教科	団体名	測定ツールの名称	基本(※1)	標準(※2)
国語	日本漢字能力検定協会	文章読解・作成能力検定 4級	●	
		文章読解・作成能力検定 3級		●
		文章読解・作成能力検定 準2級		●
ベネッセコーポレーション	Literas 論理言語力検定 3級	Literas 論理言語力検定 3級	●	
		Literas 論理言語力検定 2級		●
数学	日本数学検定協会	実用数学技能検定 3級	●	
		実用数学技能検定 準2級		●
		数検スコア基礎診断 数I・数A (項目別診断)		●
	数検スコア総合診断 数I・数A		●	
ベネッセコーポレーション	ベネッセ数学理解力検定		●	
英語	教育測定研究所	英検IBA TEST C 4技能版	●	
	ケンブリッジ大学英語検定機構	ケンブリッジ英語検定 A2 Key for Schools (PB/ CB)		●
		ケンブリッジ英語検定 4技能CBT (Linguaskill)		●
	Z会ソリューションズ	英語CAN-DOテスト レベル2	●	
		英語CAN-DOテスト レベル3		●
	ブリティッシュ・カウンシル	Aptis for Teens (中高生向けAptis)		●
ベネッセコーポレーション	GTEC Advancedタイプ・Basicタイプ・Coreタイプ	●	● Basic Advanced	

対象教科	団体名	測定ツールの名称	基本(※1)	標準(※2)	
3教科	学研アソシエ	基礎力測定診断 ベーシックコース	●		
		進路マップ 基礎力診断テスト	●		
		進路マップ 実力診断テスト		●	
	ベネッセコーポレーション	スタディーサポート αタイプ、βタイプ、θタイプ			●
		スタディープログラム			●
	ベネッセ	総合学カテスト			●
		リクルートマーケティングパートナーズ	スタディサプリ 学びの活用力診断～ベーシック～ スタディサプリ 高1・高2 学びの活用力診断～スタンダード～	●	●

- ※1: 義務教育段階の学習内容の定着度合いを測定することを重視したタイプ
- ※2: 高等学校段階の共通必修科目の学習内容の定着度合いを測定することを重視したタイプ